

月刊 くちのえらぶ島の自然(8月号)

発行:えらぶ年寄り組
発行日:2013年8月31日
8月号

ウミガメ情報

今シーズン、69カ所のウミガメ上陸の足跡を見つけました。8月14日にアオウミガメが上陸産卵した後は、上陸がありません。

産卵は26カ所を確認しました。向江浜の工事のために、産卵した卵を、エビス神社下に移植(25頭分)しました。7月下旬から、子ガメの孵化が始まり、9月にもラッキーなら子ガメの脱出・帰海が観測できそうです。

ウミガメ上陸と産卵・孵化・脱出

月 日	時間	観察者	観察の内容	天気	潮汐	月齢
8月31日 までに			8月末までの上陸足跡は69カ所。 移植した卵、25頭分、卵の合計は2838個、 17頭の卵が孵化。 孵化するまでの所要日数は、大多数が50日～60日でした。 9月に孵化の可能性がある卵は、残り4頭分。孵化しなかったのが4頭。			
8月14日	100～ 400	渡辺ら10 名	最後の上陸・産卵。 アオウミガメ。産卵を10名が目撃。黄色い標識が2つ付いて いました。Pタグ番号、右後ろ脚 Y1396、左 99685。	晴	干 0557	7.2

携帯 GPS を入手しました

「ウミガメ保護・監視業務」でいただいた8万円の予算の一部で、携帯GPS(49800円)を購入しました。携帯GPSは、いろいろな活動に有用です。貸出します。

残りの予算は、プリンターインク、コピー用紙など文具、ガソリン代に使いました。

屋久島町から委嘱された監視業務は終わりましたが、ボランティアでの保護・監視活動は、今も続けています。

ウミガメ看板を作ります

ウミガメ保護の理解を深めるために、ウミガメが上陸する向江浜の案内看板を作成する予定です。屋久島町から予算をいただけそうです。

看板に取りつけるウミガメのデザインを、小中学生の皆さんから募集したいと計画中です。

コウモリ情報

エラブオオコウモリの頭数計測は、進んでいません。ペリット(エサの噛み残しを吐き出したもの)の調査は続けています。

エラブオオコウモリとペリットなど

月日	時間	観察場所	観察結果	備考
8月29日	1915~ 1945	学校ワシントンヤシ	飛来3頭、滞在もなし。	目視
8月27日			ペリット、神社下マルバグミ・発電所上ガジュマル	目視
8月26日	1951	森ガジュマル	2頭が森家ガジュマル旋回	目視
8月22日	2234	本村	2頭が森家ガジュマルに留まる	目視
8月21日	2000	学校ワシントンヤシ	飛来、滞在もなし。	目視
8月20日	2122	森ガジュマル	1頭森ガジュマルから学校方向へ	目視
8月20日			ペリット、神社下マルバグミ、三叉路下オオイタビ・ガジュマル	写真撮影
7月31日	1130	本村・三浦港	アコウ・オオイタビ・イヌビワ・グミのペリット	写真撮影
7月27日	1630	本村・三浦港	アコウ・オオイタビ・イヌビワ・グミのペリット	写真撮影
7月19日	1500	本村	アコウ・オオイタビ・イヌビワ・グミのペリット	写真撮影
7月18日	1500	本村	イヌビワのペリット	サンプル 採取

樹木・草木の情報

えらぶ年寄り組は、東北大学の研究者と屋久島まるごと保全協会・手塚賢至さん達がすすめるタカツルランの保護・研究活動をボランティアで手伝っています。

月日	時間	観察場所	観察内容
8月23日	1000- 1200	新たに、タカツルラン発見。	GPSをはじめて使用。 採石場の東。N30° 27'04.40"、E130° 11'35.44" シイ大木あり。N30° 27'03.57"、E130° 11738.12"
7月31日		タカツルランの種、袋掛け	花はほぼ終了、枯れかけている状態。 豆のさやはしっかり成長。念のため花を外して袋掛けしました。 根を採取した個体で4~5本を2つの袋に分け袋掛け。他の個体では、3本ほどを一つの袋で袋掛け。
7月31日		タカツルラン発見	ミカン山登山道。オガタマの木、北側で発見。
6月27日	1000- 1230	新岳登山道、タカツルランのチェック	個体#398 シカに食べられた。この日マルバツツジ満開